

2024年6月30日(日)

日本キリスト教団 ^{きゅうほうきょうかい}久宝教会
第67巻第14号(通算3396号)
教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:00-10:20 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう
週報

教会標語

^{ちい}小さくされて^{ひと}いる人を
^{たいせつ}大切にする^{きょうかい}教会



ホームページ「久宝教会」
(ウェブサイト)

<http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai>
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

この「確かさ」は当て外れということがありません。私たちが頂いている聖霊の働きによって、人を大切にする神の思いが、すでに私たちの心に注がれているからです。(ローマの人々への手紙5:5)



せいれいこうりんせつ
聖霊降臨節

だい しゅじつれいはい
第7主日礼拝

《^{れいはい}礼拝はインターネットで^{ちゅうけいはいしん}中継配信いたします。ホームページにてどなたでも^{しちよう}ご視聴^{ぼしよ}いただけますので、それぞれの^{とも}場所で共に^{れいはい}礼拝をして^{いた}頂^だけます》

^{ぜんそう}前奏^{もくとう}(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

^{まね}招きの^{ことば}詞 ^{しよ}ホセア書 ^{しやう}14章 ^{せつ}2-5節

^{さんび}賛美歌 21-58番「^{ことば}み言葉をください」(©JASRAC)

^{せいしよ}聖書 ^{ふくいんしよ}ヨハネによる福音書 ^{しやう}4章 ^{せつ}46-54節

^{いの}お祈り

^{さんび}賛美歌 21-518番「^{しゅ}主にありてぞ」(©著作権消滅)

^{しん}メッセージ 「^{かえ}信じて帰る」 ^{みづたに}水谷 ^{けん}憲 ^{ぼくし}牧師

^{さんび}賛美歌 21-560番「^{しゅ}主イエスにおいては」(©著作権消滅)

^{しゅ}主の祈り 62番「^{てん}天にいます わたしたちの^{ちち}父」(©教団讚美歌改訂委員会)

^{たんじやうしゃしゆくふくしき}誕生者祝福式 ^{みづたに}水谷 ^{けん}憲 ^{ぼくし}牧師

^{ささげもの}献げ物(*)

^は派遣 21-91番「^{かん}神の恵みゆたかに^う受け」(1節のみ) (©JASRAC)

^{しゆくふく}祝福 ^{みづたに}水谷 ^{けん}憲 ^{ぼくし}牧師

^{こう}後奏 ^{ばん}アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讚美歌委員会)

^{ほう}報 告 (4頁^{ページ}をご^{さんしやう}参照ください)

《^{せき}席にお^{すわ}座りになったままで^{れいはい}礼拝にご^{さんか}参加ください》

*^{うけつけ}受付に^{けんきんばこ}献金箱がご^{ざい}ざいます。

「^{ささげもの}献げ物(献金)」はご^{ようい}用意のある^{かた}方のみ、お^{ささ}献げください。

招きの詞 ^{まね} ^{ことば} ホセア書 14章 2-5節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

² イスラエルよ、立ち帰れ。

あなたの神、主のもとへ。

あなたは自分の罪につまずいた。

³ あなたがたは言葉を用意し

主に立ち帰って、言え。

「どうぞ罪をすべて赦し

良いものを受け取ってください。

私たちは唇の^{くちびる} ^a実を献げます。

(脚注 a: LXX では「牛」)

⁴ アッシリアは我々の救いとはなりません。

我々はもはや、馬には乗りません。

自らの手の業にすぎないものを

私たちの神だとは二度と言いません。

ただあなたによってこそ

みなしごは^{あわ}憐れみを受けるのです。」

⁵ 私は、背いた彼らを癒やし

喜んで愛する。

私の怒りは彼らから離れる。



聖書 ヨハネによる福音書 4章 46-54節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

⁴⁶ イエスは、再びガリラヤのカナに行かれた。そこは、前にイエスが水をぶどう酒に変えられた所である。さて、カファルナウムに王の役人がいて、その息子が病気であった。⁴⁷ この人は、イエスがユダヤからガリラヤに来られたと聞き、イエスのもとに行き、カファルナウムまで下って来て息子を癒やして下さるように頼んだ。息子が死にかかっていたからである。⁴⁸ イエスは役人に、「あなたがたは、しるしや不思議な業を見なければ、決して信じない」と言われた。⁴⁹ 王の役人は、「主よ、子どもが死なないうちに、お出でください」と言った。⁵⁰ イエスは言われた。「帰りなさい。あなたの息子は生きている。」その人は、イエスの言われた言葉を信じて帰って行った。⁵¹ ところが、下って行く途中、僕たちが迎えに来て、その子が生きていることを告げた。⁵² そこで、息子が良くなった時刻を尋ねると、僕たちは、「昨日の午後一時に熱が下がりました」と言った。⁵³ それが、イエスが「あなたの息子は生きている」と言われたのと同じ時刻であったことを、父親は知った。そして、彼もその家族もこぞって信じた。⁵⁴ これは、イエスがユダヤからガリラヤに来てなされた、第二のしるしである。

《先週のメッセージより》6月23日

「種蒔きが先か、刈り入れが先か」より

牛田匡牧師

聖書 ヨハネによる福音書 4章 27-42節

田植えの季節となり、近隣の田んぼにも小さな苗がきれいに並んで植えられています。この時期に植えられた稲は、暑い夏を越えて、秋10月頃には収穫の時期を迎えます。およそ4カ月で小さかった苗が、大きな稲穂となるというのは、本当に不思議なことです。「種蒔きが先か、刈り入れが先か」……、数か月後に作物を収穫することを期待して、種を蒔きますから、当然「刈り入れ」よりも「種蒔き」が先です。ですが、今回のお話の中で、イエス様は「(畑の小麦は)すでに色づいて刈り入れを待っている」(35-36)と言い、「種を蒔く人と刈り入れる人は別である」(37)と言われました。これはどういうことでしょうか。

そもそも農業とは、自分たちが食べるために、種を蒔き、お世話をして、収穫をするものでした。蒔く人と刈り入れる人が同じだからこそ、汗水を垂らして苦勞する甲斐があった。しかし、貨幣経済の発展や、植民地支配の構造の下で、農民たちは次第に搾取され、貧しくされていき、やがて先祖伝来の畑や土地を奪われ、小作農や日雇い労働者となっていきました。つまり自分たちが苦勞して蒔いた種や、育てた農作物が、他人によって刈り取られ、収穫され、転売されていったのです。そのような社会、時代背景の中で、イエス様は弟子たちに対して、「あなたたちは刈り取りを奪われる側ではなく、むしろ刈り取る側であり、しかも蒔く人から搾取するのではなく、蒔く人と共に喜ぶ道が備えられているのだ」と語られました。弟子たちが既に白く色づいた小麦を収穫する人々であるならば、その麦の種を蒔いたのは誰でしょうか。それは神様ご自身に他なりません。種を蒔く人は神様ご自身であり、私たちはその豊かな収穫を刈り入れるために、呼び出され、遣わされているのだというわけです。

全ての命は神様によって創られ、豊かに祝福された存在です。ですからそれらの命が輝いて生きていけるように、抑圧されたり、押しつぶされたりしないように、守っていくこと、それが刈り入れに連なるということなのではないかと思えます。日々には様々な事に追われて、心を奪われてしまっている私たちには、一つ一つの事の中に秘められている神様の業、色づいている実りに気付いていないことが多くあります。今一度それらに目と心に向けて、豊かな刈り入れの業へと神様から遣わされて行きます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



YouTube



◎ 先週の報告 6月23日

礼拝出席 大人4名 子ども3名 献金 大人3,000円 中継視聴者数8回 感謝
 礼拝後に、釜ヶ崎支援のためのおにぎりを皆で182個作り、いこい食堂にお届け
 しました。これまで配布していた西成警察署隣の「四角公園」が工事のために閉鎖さ
 れてしまいましたので、雨天時と同様にいこい食堂の軒先でのお渡しとなりました。

◎次週 2024年7月7日(日) 聖霊降臨節第8主日礼拝

招きの詞 箴言 4章 23節

聖書 ヨハネによる福音書 5章31-40節

メッセージ 「真実の持つ力」牛田匡牧師

賛美歌 21-412番(©P.D.)、21-520番(©教団)、21-564番(©JASRAC)

礼拝後に、7月期の教会を考える会を開催する予定です。

◎お知らせ

- ・これまでの「週報」や「メッセージ(全文)」は、ホームページに掲載しています。
 また中継録画のメッセージ部分をYouTubeでご覧いただくことも可能です。
- ・昨日29日(土)に予定されていた「縁農」は、一昨日の大雨のために、延期とな
 りました。次の開催予定日は未定です。
- ・本日6月30日(日)午後、14時から八尾教会にて、河内地区婦人会の例会、2024
 年度定期総会が行われます。
- ・7月15日(月・休)11時半~14時に
 小阪教会にて「美味しいひとときを味わ
 おう! 本格石窯で焼くピザ作り体験交流
 会」が開催されます。入場無料です。
 どなたでもご参加ください。
 詳細は小阪教会までお問い合わせ下さい。
 小阪教会のウェブサイト



<https://www.eonet.ne.jp/~kosakach>



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
7/7	牛田匡牧師	教会を考える会
7/14	水谷憲牧師	(部落解放祈りの日)
7/21	牛田匡牧師	おにぎり支援
7/28	牛田匡牧師	誕生者祝福式

